

デジタルミュージアム推進事業 令和8年度第1回

うちなーの

民話上映会

テーマ

へびと変身

日時

2026年

8月16日(日)

15:00～16:00 (開場14:30)

会場

博物館講座室

受付

80名 ※当日先着

参加費

無料

お問合せ

098-941-8200

プログラム

- 15:00～15:40 第1部
デジタルミュージアムの民話上映会とミニ学芸員講座
- 15:40～16:00 第2部
民話を味わうワークショップ

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

《キーワード》

#博物館
#しまくとぅば
#民俗 #沖縄の民話
#へび #変身 #物語
#博物館常設展
#ワークショップ



あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



【開館時間】 9:00-18:00 (金・土は20:00まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)

プログラム

第1部

デジタルミュージアムの民話上映会とミニ学芸員講座

今回の民話上映会のテーマは、「ヘビ」と「変身」です。
古今東西、動物が人に、あるいは別のものに姿を変える物語は、各地で語り継がれてきました。
デジタルミュージアム推進事業にて制作した民話を鑑賞し、沖縄の民話に登場するヘビや変身のモチーフから、人びとが自然や異界をどのように見つめてきたのかを考えます。



①蛇婿入り

(うるま市石川字東恩納)

3月3日の浜下り行事の由来。
美しい娘の所に夜な夜な美しい
若者が忍んでくる。糸を通した
針を若者の着物の袖に刺し、
母親と娘が糸の後を追うと……。



②ハブ女房

(読谷村字高志保)

寺で修行している男の所に女が来て、
二人は夫婦になる。女は身ごもり、
子を産む所を絶対に見るなという。
女はハブになり子を産む。見られた
女は子を残して去るが……。



③普天間権現

(宜野湾市伊佐)

首里にとっても美しい女がいた。女は
油売りに姿を見られてしまい屋敷を
出て普天間のガマに入ってしまう。
後を追ってきた家族は女が立派な神様
になるように祈る。
普天間権現の由来。

第2部

民話を味わうワークショップ

民話を聞くだけ・見るだけではなく「味わう」ための時間です。ワークシートも
活用しながら、民話の世界を博物館で楽しむ方法をワークショップ形式でお伝え
します。

WEBアーカイブ

ウチナー民話のへや

おきみゅー web サイトの「ウチナー民話のへや」では、当館が
収蔵している約 33,000 話の民話のうち、80 話の 動画 コンテ
ンツをお楽しみいただけます。

動画の再生パターンは4種類！同じ民話をしまくとぅばや共通語
などの語り口で楽しむことができます。

また、地域別やお話の種類別など民話の情報を自由に検索できる
データベースシステムもご利用いただけます。



アクセスしてみてね！

